

正 誤 表 (重版)

2019.2

第2刷の正誤表です。正誤表にしたがって、訂正箇所をお直し下さい。重版の際に都合で訂正を次回に廻したものと、重版印刷後、新たに見つかった誤りです。誤りの記述が残りましたことを、読者の方々に深くお詫び申し上げます。

ページ	行など	誤	正
4	表 4	表 4	表 4 塩素の安定同位体
4	単体 4 行目	He ガス	ヘリウムガス
10	下から 18 行目	斜字体	斜体
14	欄外の*2	無視できるほど小さい。	無視できるほど小さい (P.33 のコラム参照)。
23	図 1.1	しいき波長 (2 箇所)	しきい波長
54	3.2.3 の 6 行目	(bouble bond)	(double bond)
122	6 行目	温度が上がると吸着分子の熱運動が激しくなって脱離が起こりやすくなるために	圧力一定で温度が上がると気体の密度が減少するために
132	8.3.1 の 7 行目	局在化	局在
161	1 行目	「原子・分子の化学」	「原子・分子の世界」
161	1 行目	「分子集団の化学」	「原子・分子集団の世界」
177	表 12.10	(10 ¹² g/年)	(10 ¹² g/年)
192	16 行目	旋光性が異なり光の...	旋光性が異なり、光の...
195	註 1	10 章を参照...	10 章 2 を参照...
198	註 1	https://www.cira.kyoto-u.ac.jp/j/...	http://www.cira.kyoto-u.ac.jp/
全体			数値と°C の間を半角空ける